

2023年8月10日

各 位

会 社 名 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
 代表者名 代 表 取 締 役 白 岩 直 人
 (東証 プライム市場・コード:7172)
 問合せ先 取締役管理本部長 杉 本 健
 (TEL. 03-6550-9307)

プライベート・エクイティ投資事業における新たな投資について ～株式会社エアロネクスト～

当社グループは、2015年8月より、プライベート・エクイティ投資事業を開始し、バリューアップ投資を行っております。これまでに4社のIPOを実現いたしました。(※)

今般、新たな投資先として、株式会社エアロネクスト(以下、エアロネクスト)の株式を取得いたしましたのでお知らせいたします。

※ これまでの当社グループ投資実績:<https://www.jia-ltd.com/business/privateequity/>

記

1. 投資の目的

エアロネクストは、「空が社会インフラとなり、巨大な経済圏となる未来」を見据えております。その上で、強みであるドローンの要素技術を知財化し、ライセンスプロダクトとして世界のドローン産業に広く提供しております。これら、要素技術と知的財産をベースに、空が社会インフラとなる未来への強い信念と熱意を共有するパートナーと協力し、空の経済化に必須のプラットフォームを構築しております。

■主なサービス

① フライングロボット事業	様々な社会課題を産業ドローンによって課題解決
② エアモビリティ事業	物流・宅配分野において「人」を運ぶためのプラットフォーム創生
③ コンサルティング事業	物流専用ドローン AirTruck を使用したドローン配送支援

当社グループは、エアロネクストが掲げる「空を社会インフラへ」というビジョンに共感し、同社の事業拡大のサポートをすべく、株式を取得することといたしました。

2. エアロネクストの概要

(1)名称	株式会社エアロネクスト
(2)所在地	東京都渋谷区恵比寿西 2-3-5 石井ビル 6F
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役 CEO 田路 圭輔
(4)事業内容	・ 産業用ドローンの機体設計構造技術の研究開発 ・ 産業用ドローンの機体設計構造技術の特許ポートフォリオ開発 及びライセンスビジネス
(5)設立	2017年4月11日
(6)URL	https://aeronext.co.jp/

3. 今後の業績に与える影響

現時点において、本件による 2023 年 12 月期の業績に与える影響は軽微です。

本件に関する問合せ先
広報・IR室
TEL:03-6550-9307

以上

【参考】エアロネクスト サービス・プロダクト紹介

エアロネクストが提供する以下 3 種類のサービスをご紹介します

- (1) フライングロボット事業
- (2) エアモビリティ事業
- (3) コンサルティング事業

(1) フライングロボット事業

➤ 物流・点検・測量・農業・消防・警備など、業界ごとのパートナー企業と共に、具体的に抱える課題を産業ドローンで解決。それにより、各業界の成長、活性化に貢献する事業。

■ コアテクノロジーである、機体設計構造技術「4D GRAVITY®」について

<https://aeronext.co.jp/technology/>

技術概要	<ul style="list-style-type: none">✓ 飛行中の姿勢、状態、動作によらないモーターの回転数の均一化や機体の形状・構造に基づく揚力・抗力・機体重心のコントロールなどにより空力特性を最適化することで、安定性・効率性・機動性といった産業用ドローンの基本性能や物流専用ドローンの運搬性能を向上させる。✓ 「4D GRAVITY®」搭載の物流、点検等、様々な用途の原理試作 Next シリーズを発表。
プロダクト	「Next シリーズ」 

特長	① 燃費の向上 4D GRAVITY®搭載機は、飛行中のモーターにかかる負荷を均質化。その結果、モーターのダウングレードを可能にし、燃費が向上。
	② 安全性の向上 墜落の原因となる、飛行中の重心変化や横風や上昇気流に対して強く、飛行姿勢に無理がないためより安定した飛行が可能。
	③ 機動性の向上 飛行部と本体部の分離により、飛行部の応答性が大幅に向上。機敏な動きの実現と飛行速度がアップ。

(2) エアモビリティ事業

- 物流・宅配分野において、物だけでなく将来的に「空飛ぶ車」・「人」を運ぶためのプラットフォーム全体を他企業と協力して創生していく事業。機体だけでなくサービスや周辺サービスも含めた空路ビジネスプラットフォーム全体をプロデュースする事業。

■ 一人乗りの「Next MOBILITY®」原理試作 1 号機

<https://aeronext.co.jp/service/next-mobility/>

試作機概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人間の「空を飛ばたい」という根源的かつ究極の欲求を満たしながら、楽しく快適に空を飛ぶという飛行体験を提供したいと考えた結果、まるで観覧車のゴンドラが空に飛び立ち自由に飛ぶことができるような世界をイメージしたモビリティコンセプトが『空飛ぶゴンドラ』。 ✓ 『空飛ぶゴンドラ』において、「安全性」と「快適性」を実現させることで新たな飛行体験を提供するために、具現化した原理試作が「Next MOBILITY®」。
プロダクト	<p>「Next MOBILITY®」</p> 
特長	<ul style="list-style-type: none"> ① パイロットの同乗が必要ない遠隔操縦自動航行の乗り物 ② 離陸から水平飛行への移行がスムーズで安定 ③ 座席が地面に対して水平に保てるので快適な乗り心地

(3) コンサルティング事業

➤ 新スマート物流 SkyHub® をはじめとした、エアロネクストが提供するコンサルティング事業。

■ デジタル田園都市構想を体現する新スマート物流「SkyHub®」

<https://nextdelivery.aeronext.co.jp/#skyhub>

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SkyHub®は、既存物流とドローン物流を繋ぎこみ、地上と空のインフラが接続されることで、いつでもどこでもモノが届く新しいスマート物流の仕組み。 ✓ ドローン配送が組み込まれた、オープンプラットフォーム、かつ標準化した仕組みで、ドローンデポ®を拠点に、SkyHub®アプリをベースにした配達代行、オンデマンド配送、医薬品配送、異なる物流会社の荷物を一括して配送する共同配送などのサービスを提供。
<p>ストラクチャー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 産業用ドローンの研究開発を行うエアロネクストの戦略子会社「株式会社NEXT DELIVERY」にて、事業展開。 ✓ 物流専用ドローンを使った、安全安心なドローン配送の社会実装に取り組む。 <div data-bbox="461 862 1393 1382" data-label="Image"> </div> <p>https://nextdelivery.aeronext.co.jp/drone-delivery-takeoff/</p>
<p>サービス</p>	<p>■セイノーホールディングスと共同運営体制</p> <p>スマートサプライチェーン“SkyHub®”</p> <div data-bbox="461 1590 1369 2033" data-label="Diagram"> </div> <p>共同配送に加えて、複数の配送オプションからラストワンマイルを最適化する</p>

	<p>■フロー</p> <p>① ドローン配送を含むさまざまな配送手段によるラストワンマイルの起点となる「ドローンデポ®」を共同運営</p> <p>② ドローンが荷物を運んで置き配する「ドローンスタンド®」を村内の各集落に設置</p> <p>③ 村民の方がドローン配送を選んだ場合には、自身でドローンスタンドまで荷物を受け取りに行く。</p>
<p>導入事例 (一部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山梨県小菅村 ・ 北海道上士幌町 ・ 福井県敦賀市 ・ 千葉県勝浦市 ・ 茨城県境町 ・ 和歌山県日高川町

以上